ふそう スーパーグレート、エアロエース、エアロクィーンの
制動装置（エキスパンダー）のリコールについて

ふそう スーパーグレート、エアロエース、エアロクィーンの制動装置（エキスパンダー）について、平成31年3月12日に下記のリコールを国土交通省に届け出ました。ご愛用車の措置について、販売会社から早急にご連絡・ご相談をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

ユーザの皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますことを、心よりお詫び申し上げます。

リコール届出番号	4457	リコール開始日	平成31年 3月12日
不具合の部位（部品名）	制動装置（エキスパンダー）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エアサスペンションを装着した大型トラック・バスにおいて、リヤブレーキシューを固定しているスプリングの設定が不適切なため、走行時の振動入力によって当該シューが振動してクリップ（シュークリアランスを調整するアジャスターを保持している部品）を叩き、クリップが変形又は破損することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、シュークリアランスが増大し、最悪の場合、リヤブレーキの制動力が低下するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、暫定措置として、リヤブレーキシューを固定しているスプリングを対策品に、車両下側のクリップを新品に交換する。なお、上側クリップについては、変形・破損が認められた場合は新品に交換する。 なお、対策が決定次第、恒久対策を実施する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考
三菱	QKG-FV64VJR	「ふそう ｽｰﾊﾟｰｸﾞﾚｰﾄ」	FV64VJ-520002～FV64VJ-525020 平成28年1月22日～平成29年11月20日	43	
	QPG-FP64VDR		FP64VD-520001～FP64VD-525572 平成27年12月7日～平成30年7月4日	1,750	
	QPG-FP64VER		FP64VE-520001～FP64VE-525148 平成28年1月19日～平成30年4月27日	467	
	QPG-FP64VGR		FP64VG-520001～FP64VG-525059 平成28年1月22日～平成30年7月23日	135	
	QPG-FU64VZ		FU64VZ-520001～FU64VZ-525389 平成27年11月10日～平成29年8月30日	2,226	
	QPG-FU64VY		FU64VY-520001～FU64VY-525031 平成28年2月5日～平成29年8月24日	92	
	QPG-FU65VZ		FU65VZ-520001～FU65VZ-525062 平成27年12月24日～平成29年8月29日	249	
	QPG-FV64VJR		FV64VJ-520001～FV64VJ-525021 平成28年1月21日～平成29年12月21日	20	
	QPG-FV64VZ		FV64VZ-520001～FV64VZ-525050 平成28年1月22日～平成29年8月29日	211	
	2KG-FV74HJR		FV74HJ-500003～FV74HJ-500045 平成30年1月12日～平成30年11月8日	28	
	2PG-FP74GGR		FP74GG-500003～FP74GG-500017 平成30年5月29日～平成30年12月13日	15	
	2PG-FU74GZ		FU74GZ-500001～FU74GZ-500150 平成29年4月19日～平成31年1月22日	149	
	2PG-FU74GY		FU74GY-500001～FU74GY-500042 平成29年7月31日～平成31年1月8日	42	
	2PG-FU74HZ		FU74HZ-500003～FU74HZ-501981 平成29年4月19日～平成31年1月22日	1,978	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考
三菱	2PG-FU74HY	「ふそう ｽｰﾊﾟｰｸﾞﾚｰﾄ」	FU74HY-500002～FU74HY-500078 平成 29 年 4 月 20 日～平成 30 年 12 月 25 日	77	
	2PG-FU75GZ		FU75GZ-500002～FU75GZ-500004 平成 29 年 9 月 22 日～平成 30 年 5 月 30 日	3	
	2PG-FU75HZ		FU75HZ-500003～FU75HZ-500274 平成 29 年 4 月 24 日～平成 31 年 1 月 22 日	271	
	2PG-FV74GZ		FV74GZ-500001～FV74GZ-500022 平成 29 年 5 月 10 日～平成 30 年 10 月 25 日	22	
	2PG-FV74HJR		FV74HJ-500004～FV74HJ-500036 平成 30 年 1 月 17 日～平成 30 年 10 月 9 日	15	
	2PG-FV74HZ		FV74HZ-500003～FV74HZ-500285 平成 29 年 4 月 24 日～平成 31 年 1 月 22 日	283	
	2RG-FP74HDR		FP74HD-500005～FP74HD-500815 平成 29 年 10 月 6 日～平成 31 年 1 月 21 日	811	
	2RG-FP74HER		FP74HE-500003～FP74HE-500333 平成 29 年 11 月 8 日～平成 31 年 1 月 21 日	329	
	2RG-FP74HGR		FP74HG-500002～FP74HG-500055 平成 29 年 11 月 24 日～平成 31 年 1 月 14 日	54	
	QDG-MM97FH	「ふそう ｴｱﾛｴｰｽ」	MM97FH-82020～MM97FH-82285 平成 28 年 6 月 16 日～平成 29 年 8 月 11 日	45	
	QTG-MS96VP		MS96VP-72001～MS96VP-73364 平成 28 年 5 月 24 日～平成 29 年 8 月 22 日	1,099	
		「ふそう ｴｱﾛｸｨｰﾝ」	MS96VP-72007～MS96VP-73365 平成 28 年 5 月 28 日～平成 29 年 8 月 8 日	266	
	TDG-MM97FH	「ふそう ｴｱﾛｴｰｽ」	MM97FH-82011～MM97FH-82286 平成 28 年 5 月 24 日～平成 29 年 8 月 22 日	231	
	2TG-MS06GP		MS06GP-71001～MS06GP-75270 平成 29 年 6 月 9 日～平成 31 年 3 月 8 日	1,029	
		「ふそう ｴｱﾛｸｨｰﾝ」	MS06GP-71021～MS06GP-75235 平成 29 年 7 月 12 日～平成 31 年 2 月 1 日	185	
	(計 27 型式)	(計 3 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 27 年 11 月 10 日～平成 31 年 3 月 8 日	(計 12,125 台)	

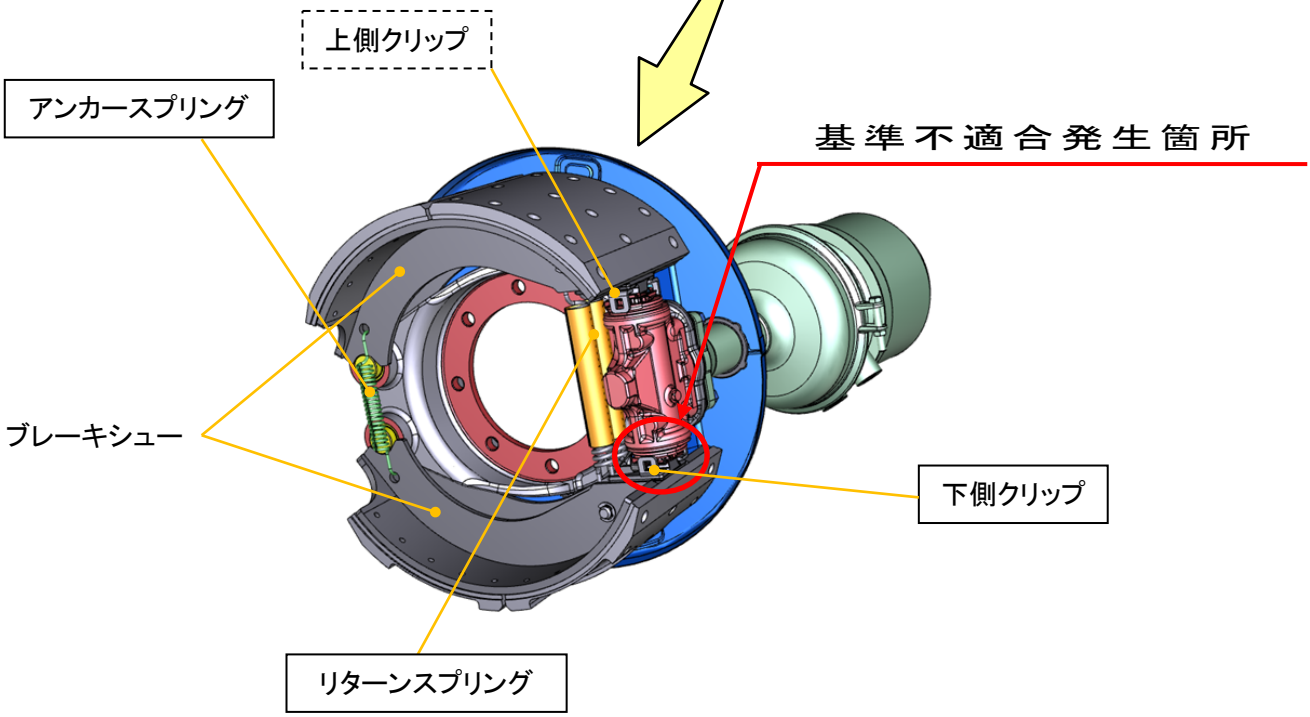
【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 総排気量（CC）	備考
三菱	QKG-FV64VJR	「ふそう ｽｰﾊﾟｰｸﾞﾚｰﾄ」	トラクタ	キャブオーバ	6R10 (12,808)	
	QPG-FP64VDR					
	QPG-FP64VER					
	QPG-FP64VGR					
	QPG-FU64VZ		普通・貨物			
	QPG-FU64VY					
	QPG-FU65VZ					
	QPG-FV64VJR		トラクタ			
	QPG-FV64VZ		普通・貨物			
	2KG-FV74HJR		トラクタ		6R20 (10,676)	
	2PG-FP74GGR				6S10 (7,697)	
	2PG-FU74GZ		普通・貨物			
	2PG-FU74GY					
	2PG-FU74HZ				6R20 (10,676)	
	2PG-FU74HY					
	2PG-FU75GZ				6S10 (7,697)	
	2PG-FU75HZ				6R20 (10,676)	
	2PG-FV74GZ				6S10 (7,697)	
	2PG-FV74HJR		トラクタ		6R20 (10,676)	
	2PG-FV74HZ		普通・貨物			
	2RG-FP74HDR		トラクタ			
	2RG-FP74HER					
	2RG-FP74HGR					
	QDG-MM97FH	「ふそう ｴｱﾛｴｰｽ」	普通・乗合	ﾘﾔｰｴﾝｼﾞﾝ	6M60 (7,545)	
	QTG-MS96VP				6R10 (12,808)	
		「ふそう ｴｱﾛｸｨｰﾝ」				
	TDG-MM97FH	「ふそう ｴｱﾛｴｰｽ」			6M60 (7,545)	
	2TG-MS06GP				6S10 (7,697)	
		「ふそう ｴｱﾛｸｨｰﾝ」				

改 善 箇 所 説 明 図





エアサスペンションを装着した大型トラック・バスにおいて、リヤブレーキシューを固定しているスプリングの設定が不適切なため、走行時の振動入力によって当該シューが振動してクリップ（シュークリアランスを調整するアジャスターを保持している部品）を叩き、クリップが変形又は破損することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、シュークリアランスが増大し、最悪の場合、リヤブレーキの制動力が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、暫定措置として、リヤブレーキシューを固定しているスプリングを対策品に、車両下側のクリップを新品に交換する。なお、上側クリップについては、変形・破損が認められた場合は新品に交換する。

なお、対策が決定次第、恒久対策を実施する。

注　：□は交換する部品を、⬚は変形・破損が認められた場合に交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、左側ドアリヤピラー部に「HD220」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。